

(1) 下新宿を取り巻く環境の変化に相応した基本的考え

平成26年度は日本全国で様々な災害が発生しました。

8月には、広島で豪雨による土砂災害

9月には、御嶽山での噴火による災害

11月には、長野県白馬村における直下型地震による災害

12月には、北海道釧路での異常高潮による災害 等

私達の生活を脅かす災害が多数発生しました。

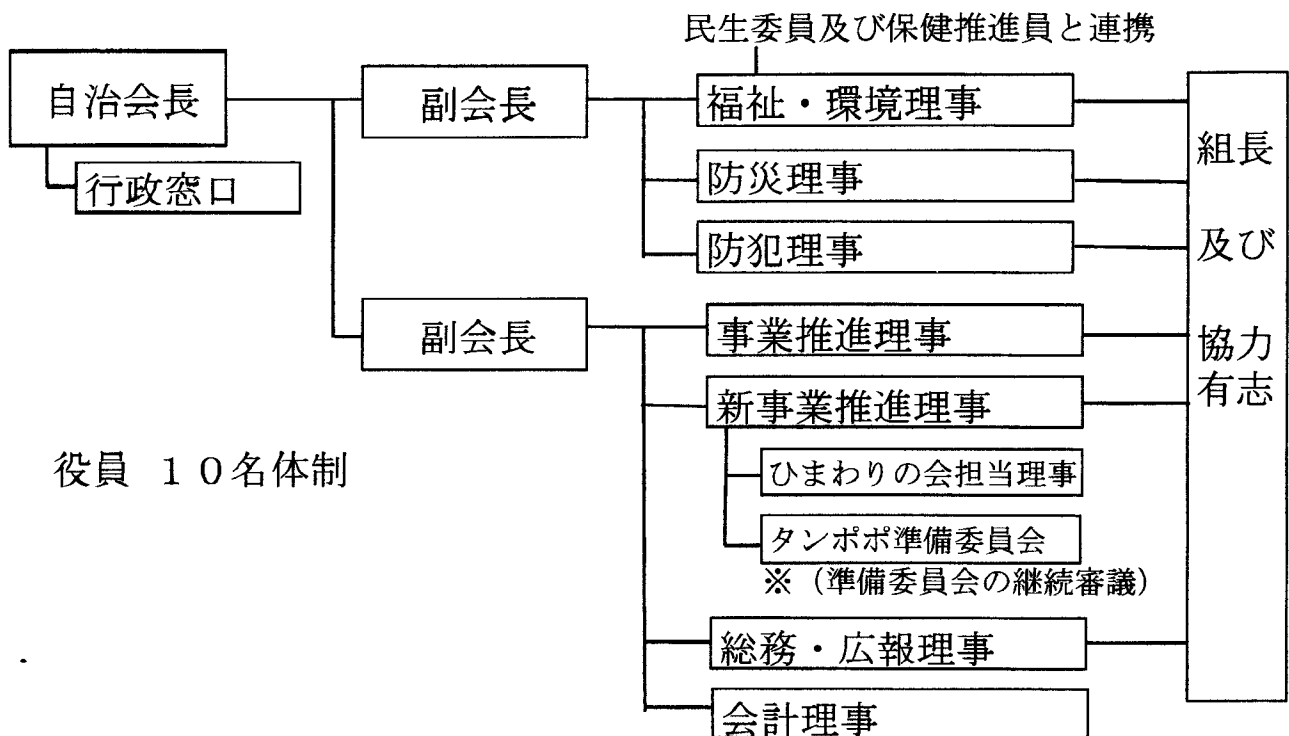
下新宿自治会といたしましても、平成23年3月発生 of 東日本大震災の教訓のもと、引き続き防災を中心とした備えに積極的に取り組んで参ります。

具体的には、

- ① 昨年新設置した倉庫に収納する生活備品の充実と、毎日の安全を守る防犯灯のLED化による明るい生活道路の確保
- ② 各種事業活動を通じ、更なる顔の見える街づくりと、「住んで良かった」と感じる温かい心のかよう環境づくり
- ③ この街を支える女性パワーを更に楽しく活動しやすい環境をつくる為、「ひまわりの会」の支援と会員の拡大

この3本の柱を中心に取り組んで参ります。

それを達成する為の組織は、



役員 10名体制

※ タンポポの会 (新子ども会) の新設については、現自治会員の中での子供数を調査したところ少数であり、その親御さんに負担が増える為、今年度も引き続き検討して参ります。

(2) 幅広い住民参加の自治会

① 自治会活動の情報開示

総会前に議案書を全会員に配布

回覧・掲示板・ホームページの更新を行い、自治会活動を公示する。

② 地域住民が自治会活動に容易に参加できることを目指す

組長さんとの定期的情報交換会（奇数月、6回／年）を継続する。

顔の見える街づくり（近所同士の連携やコミュニケーションの強化）及び”世代間の交流”を目指して、レクリエーション行事を実施する。

新入会員の募集（集合住宅を含めた地域の皆さんの自治会活動への参加促進）

気軽に子育て・介護相談できる地域窓口（行政への仲介窓口）を継続する。

③ 防災対策の強化

防災備品のさらなる整備拡充

防災マニュアルの見直しと、防災用具備品の使用方法を全自治会員が習得するための訓練を行う。新規自治会員については防災マニュアルの配布と講習会を行う。

10月に実践的な防災訓練（各家庭における防災訓練、防災組織とその役割と機能の確認、行動訓練、炊き出し訓練）を実施する。